



発表項目 (行事名)	北方領土プロジェクト“N” テーマ1 高校生Nサミット 高校巡回北方領土展示会の開催について																
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者															
		発表場所															
概要	<p>1 概要 管内の高校生が集って、北方領土の啓発活動を体験する「高校生Nサミット」の一環として、各高校を巡回する展示会を以下の日程で実施します。展示会では、昨年度の「高校生Nサミット」で制作したデジタルサイネージ映像を放映するほか、Nサミットの様子を紹介するパネルを展示します。また、<u>展示会初日の昼休みもしくは放課後に、生徒による校内生徒への啓発活動を、実施します。</u></p> <p>2 巡回日程及び展示高校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>巡回日程</th> <th>展示高校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月8日(月)～5月15日(月)</td> <td>羅臼高校</td> </tr> <tr> <td>5月15日(月)～5月22日(月)</td> <td>中標津高校</td> </tr> <tr> <td>5月22日(月)～5月29日(月)</td> <td>標津高校</td> </tr> <tr> <td>6月5日(月)～6月12日(月)</td> <td>根室高校</td> </tr> <tr> <td>6月12日(月)～6月19日(月)</td> <td>中標津農業高校</td> </tr> <tr> <td>6月19日(月)～6月26日(月)</td> <td>別海高校</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 実施要領 資料1のとおり</p> <p>4 参加者名簿 資料2のとおり</p> <p>5 生徒による啓発活動 資料3「各高校の啓発内容について」のとおり</p> <p>4 その他 中標津高校及び根室高校で実施する啓発活動については、現在各高校と調整中のため、後日、情報提供します。</p> <p>【参考資料】 ・ 北方領土プロジェクト“N” テーマ1 令和5年度高校生Nサミットの概要</p>			巡回日程	展示高校	5月8日(月)～5月15日(月)	羅臼高校	5月15日(月)～5月22日(月)	中標津高校	5月22日(月)～5月29日(月)	標津高校	6月5日(月)～6月12日(月)	根室高校	6月12日(月)～6月19日(月)	中標津農業高校	6月19日(月)～6月26日(月)	別海高校
	巡回日程	展示高校															
5月8日(月)～5月15日(月)	羅臼高校																
5月15日(月)～5月22日(月)	中標津高校																
5月22日(月)～5月29日(月)	標津高校																
6月5日(月)～6月12日(月)	根室高校																
6月12日(月)～6月19日(月)	中標津農業高校																
6月19日(月)～6月26日(月)	別海高校																
参考	<p>○ 北方領土プロジェクト“N”について 北方領土対策根室地域本部では、北方領土返還要求運動の拠点である根室地域が全国の先頭に立ち、運動を引き継ぐ後継者を育成していくため、「北方領土プロジェクト“N”」と題して高校生に焦点を当てた取組を推進しています。 本プロジェクトでは、根室管内の高校生が北方領土問題への興味・関心をもつ「きっかけづくり」として、「高校生Nサミット(テーマ1)」の開催や、管内の高校生が授業や部活動を通じて、北方領土問題や返還要求運動に継続的に関与できる環境を整える「基盤づくり」として、北方領土対策根室地域本部、根室教育局及び根室高校の三者が連携・協力して「Bタスク(テーマ2)」に取り組んでいます。</p>																
報道(取材)に当たってのお願い	一般公開は行いませんので、 <u>取材を希望される方は、必ず北方領土対策根室地域本部までご連絡ください。(各高校へ直接連絡することはご遠慮ください)</u>																
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク																
担当(連絡先)	北方領土対策根室地域本部北方領土対策室 伊勢、山本 電話：0153-24-0278(直通)																

高校巡回北方領土展示会 実施要領

1 目的

根室管内の各高校において、昨年度の高校生Nサミットで制作したデジタルサイネージ映像や、サミットの様子を紹介するパネルを展示するほか、展示会の実施に併せ、生徒による校内生徒への啓発を行うことで、広く校内生徒に領土問題に対する興味・関心を持ってもらい、今後の返還要求運動を牽引していく人材の育成を図る。

2 主催

北海道根室振興局（北海道総務部北方領土対策根室地域本部）

3 参加対象

根室管内高等学校の生徒（1校2名程度）

4 実施内容

参考：デジタルサイネージ写真

(1) 展示期間

- | | |
|-----------|-------------------|
| ① 羅臼高校 | 5月8日（月）～5月15日（月） |
| ② 中標津高校 | 5月15日（月）～5月22日（月） |
| ③ 標津高校 | 5月22日（月）～5月29日（月） |
| ④ 根室高校 | 6月5日（月）～6月12日（月） |
| ⑤ 中標津農業高校 | 6月12日（月）～6月19日（月） |
| ⑥ 別海高校 | 6月19日（月）～6月26日（月） |



(2) 展示物

- ① デジタルサイネージ（32インチ・縦型）
（令和4年度高校生Nサミット制作映像（4分14秒）をリピート再生）
- ② 令和4年度高校生Nサミットの様子を紹介するパネル（看板含めB2サイズ3枚）

(3) 啓発活動について（必須）

展示会初日の昼休みもしくは放課後に、生徒が校内の他生徒への啓発を実施（30分程度・振興局職員が同席）。啓発の内容は、以下の中から事前に参加生徒が選択する。

選択項目	生徒の活動	備考
a) 啓発パネルの設置 （最大4枚）	・パネルの案内、振興局職員への引継ぎ	・パネルの詳細説明は振興局職員が行う
b) 啓発物品の配付	・ボールペンやティッシュ等の配付	・振興局職員も一緒に配付
c) パンフレットの配付	・北対協作成パンフレット（北方領土）の配付	・同上
d) エリカちゃん着ぐるみ	・着ぐるみを着用	・着ぐるみの着脱等は振興局職員が補助
e) 署名活動	・署名の呼びかけ	・振興局職員も一緒に呼びかけ
f) SNSでの発信	・展示会の様子を生徒自身のSNSで発信（期間中）	・30分間常時立ち会わなくても良い
g) 友達を誘う	・展示会場に友達を連れてくる	・同上

(4) 啓発×BINGO について

参加生徒には事前にビンゴカードを配付し、任意で啓発活動に取り組んでもらう。なお、高校巡回北方領土展示会に併せて取り組むことが可能な取組は以下のとおり。

【高校巡回北方領土展示会に併せて挑戦可能な取組】

- ① 啓発活動（上記 a～g）を 2 項目以上実施する
- ② 友達にデジタルサイネージ映像の感想を聞く

【年間を通して挑戦可能な取組】

- ⑦ 「『北方領土の日』ポスターコンテスト（道主催）」「北方領土動画コンテスト（道主催）」「北方領土に関する標語・キャッチコピー（北方領土問題対策協会主催）」「“北方領土を考える”高校生弁論大会（北方領土復帰期成同盟）」のいずれかに応募する（後日案内）
- ⑧ 北海道北方領土対策本部 YouTube チャンネルを視聴する
- ⑨ 元島民や語り部に質問する

5 活動記録について

展示会終了後、参加生徒に対し、Web アンケートを実施。
アンケートの回答方法や提出期日等は、別途事務局から通知する。

6 報道（取材）について

本事業の開催に際して、報道機関へ情報提供を行う。

令和5年度高校生Nサミット 参加者名簿

氏名	ふりがな	学年	高校名	備考
調整中			根室高校	
杉本 萌々菜	すぎもと ももな	3	別海高校	※1
竹谷 摩	たけや なず	3	別海高校	※1
調整中			中標津高校	
山中 快斗	やまなか かいと	2	標津高校	※1
横山 空	よこやま そら	2	標津高校	※1
吉江 輝貴	よしえ てるき	2	標津高校	※1
三河 里奈	みかわ りな	3	羅臼高校	※1
桜谷 匠太郎	さくらや しょうたろう	2	羅臼高校	※2
佐藤 天	さとう そら	2	中標津農業高校	※1
柴田 あかり	しばた あかり	2	中標津農業高校	※1

※1 令和4年度 高校生Nサミット参加者

※2 令和5年度からの新規参加

各高校の啓発内容について

	実施高校	実施場所	啓発時間		生徒が選択した啓発内容		
5月8日	羅臼高校	生徒玄関前	放課後	15:25～15:55	a)啓発パネルの設置	f)SNSでの発信	
5月15日	中標津高校	調整中	調整中		調整中		
5月22日	標津高校	生徒玄関前ホール	放課後	15:30～16:00	b)啓発物品の配付	c)パンフレットの配付	d)エリカちゃん着ぐるみ
6月5日	根室高校	調整中	調整中		調整中		
6月12日	中標津農業高校	2階渡り廊下前	昼休み	12:40～13:00	b)啓発物品の配付	c)パンフレットの配付	d)エリカちゃん着ぐるみ
6月19日	別海高校	生徒玄関前ホール	昼休み	13:00～13:20	b)啓発物品の配付	c)パンフレットの配付	

令和5年度事業のポイント

- 1 四半期毎に活動の場を提供 → 回を重ねるごとに経験を積み、啓発スキルがレベルアップする仕組み
- 2 生徒が選択できる活動「啓発×BINGO」を実施 → 必須活動の他に、オプションとしてビンゴ形式で啓発活動を行う
- 3 推薦入試に活用できる活動記録書の作成 → 参加生徒にはアンケートに答えてもらい、その内容を活動記録書にして、フィードバック

STEP1 <春:高校巡回展示会の実施> ~デジタルサイネージ(R4作成)を活用した啓発実践(初陣)~

【日 時】	①5/8 (月) ~5/15 (月)	羅臼高校
	②5/15 (月) ~5/22 (月)	中標津高校
	③5/22 (月) ~5/29 (月)	標津高校
	④6/5 (月) ~6/12 (月)	根室高校
	⑤6/12 (月) ~6/19 (月)	中標津農業高校
	⑥6/19 (月) ~6/26 (月)	別海高校

【要請人数】各高校2名程度

【内 容】

- ・ デジタルサイネージの設置（高校生Nサミット制作映像の放映）及びNサミットの様子を紹介するパネルの展示
- ・ 展示会初日の昼休みもしくは放課後に、生徒による校内生徒への啓発を実施（30分程度）

STEP3 <秋:高校生Nサミット> ~春夏の経験を共有し、今後の啓発活動の在り方を考える~

【日 時】10/11 (水) (放課後・オンライン開催)

【要請人数】各高校2名程度

【内 容】

- ・ 後継者語り部による講話、冬の「高校生キャラバン」に向けたグループワーク
- より興味を持ってもらえる署名活動のやり方を考え、出たアイデアは冬の署名活動で実践する。

STEP2 <夏:啓発活動の視察・研究> ~札幌班と地元班に分かれ啓発活動を視察、あるいは研究する~

	札幌班	地元班
【日 時】	8/24 (木) ~8/25 (金)	夏休み期間中
【要請人数】	各高校1名	左記以外の生徒
【内 容】	・ 国民大会・街頭行進への参加 ・ 北方領土サポーターとともに、札幌駅構内で街頭啓発を実施	・ 北方領土啓発施設の見学

STEP4 <冬:高校生キャラバン> ~春夏秋の集大成として、管内中心街で署名活動を実施~

【日 時】1/11 (木) (冬休み期間)

【要請人数】各高校2名程度

【内 容】

- ・ 各市町を巡回し、スーパーや役場等で署名活動を実施

高校生キャラバン 行程イメージ

参加校	移動方法	署名場所①	署名場所②	署名場所③
根室高校 別海高校	借り上げ バス等	START 根室市内 (スーパー)	別海町内 (役場)	GOAL 中標津町内 (ショッピング モール)
中標津高校 中標津農業高校 標津高校 羅臼高校		START 羅臼町内 (ドラッグ ストア)	標津町内 (役場)	

啓発 × BINGO ~ ビンゴ形式での啓発活動(自ら行動する)~

目的

生徒自身に取り組む啓発活動を選択してもらう。ビンゴ形式にすることで、ゲーム感覚で気軽に楽しく啓発活動に参加してもらい、より自主的な行動を促すねらい。

BINGOの参加方法

- ①年4回の活動に併せて、9つのミッションに挑戦する。
- ②四半期ごとにWebアンケートに回答する。Webアンケートの中で、挑戦した活動を報告したら、ミッション達成とする。
- ③2列達成（5ミッション～7ミッション）でエリカちゃんorエリオくん人形をプレゼント。

エリカちゃん・
エリオくん人形 →



コンプリート賞について

すべてのミッションをクリアした人には、エリカちゃんエコバッグをプレゼント。

エコバッグ
(イメージ)
↓



ビンゴカード (例)

※ミッションの配列は生徒によって
ランダムに変更

高校生Nサミット 啓発 × BINGO

啓発活動に取り組んで、BINGOに挑戦！
2列達成で景品をプレゼント！

春

高校巡回展示会

- ①啓発活動を2項目以上実施する

夏

啓発活動の視察・研修

- ③国民大会に出席、または北方領土啓発施設を見学した感想を報告

年間

- ⑦北方領土に関する各種コンテストのいずれかに応募する(後日案内)

年間

- ⑧北海道北方領土対策本部YouTubeチャンネルを視聴する

秋

高校生Nサミット

- ⑤高校生Nサミット(オンライン会議)の場で発言する

春

高校巡回展示会

- ②友達にデジタルサイネージ映像の感想を聞く

冬

高校生キャラバン

- ⑥キャラバン活動で自分なりに工夫した行動を報告する

年間

- ⑨元島民や語り部に質問する

夏

啓発活動の視察・研修

- ④「北方領土デジタルカードラリー」に参加(後日案内)

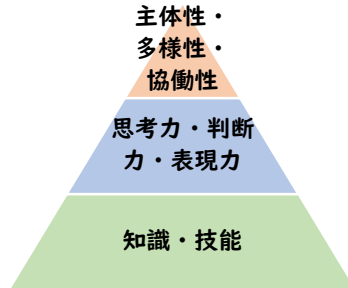


活動記録書の作成

目的

社会では、新たな価値を創造していく力を育むことが必要とされており、大学入試選抜でも従来の知識・技能の修得に加え、主体的に学習に取り組む態度など「学力の3要素（右図参照）」を総合的に評価するという改革が進められている。

普段の授業に加え、「高校生Nサミット」の活動を通じて、国の重要課題である北方領土問題に携わることは、貴重な経験と考えられるため、こうした活動を記録に残し生徒たちに配付することで、将来の就職や進学の際に面接などで役立てていただく。



作成方法

参加者には、四半期ごと（春・夏・秋・冬）にWEBアンケートに答えてもらい、その内容を事務局で報告書形式に整理し、後日、参加者へ送付する。

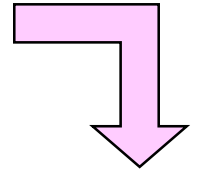
アンケートでは、「この活動を通じて新たに発見したこと」、「自分なりに工夫したこと」、「失敗した点や次回に向けた改善策」など、参加者自身の体験談を答えていただく。Webアンケートの内容、URL、提出期日は、四半期ごとに事務局から参加者へ連絡する。

アンケート結果は、今後の事業の参考とさせていただくほか、作成した活動記録書は、後輩生徒や中学生への継承にも役立てていく。

※アンケート及び活動記録書（イメージ）

アンケート（イメージ）

- 基本情報
希望する進路・将来の夢、高校生Nサミットへの参加理由と活動に向けての抱負など
- 高校巡回展示会について
Q1 「高校巡回展示会」をやってみた成果（うまくいった点や手応えを感じたこと）を記載してください。
Q2
- 任意活動について
Q3



活動記録書（イメージ）

氏名
学年

基本情報（希望する進路や将来の夢、高校生Nサミットの参加理由など）

活動内容

活動の成果（うまくいった点や手応えを感じた点）

反省点や失敗から学んだこと

その他（任意活動について）

上記のとおり、活動したことを証明する
北海道北方領土対策根室地域本部長 岡嶋 秀典